

エコへるす

〇〇●● 長野県環境保全研究所ニュース 平成28年(2016年)6月30日発行 ●●〇〇
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> Email: kanken@pref.nagano.lg.jp



リニア建設工事の大気環境を測定します

リニア中央新幹線は2027年の開業を目指して、今年の夏に県内でも建設工事が開始されます。リニア中央新幹線が開通すると、移動時間が短縮され便利になる、遠方から県内への旅行客の増加が見込まれるなど、様々な効果が期待されます。一方で、沿線地域の建設工事による大気環境等への影響やリニア新幹線の走行に伴う騒音等、環境問題への懸念もあると思います。

建設工事では、資材や土砂を運搬する大型ダンプカー等の通行に伴う、周辺の大気環境への影響や騒音問題が懸念されます。JR東海では環境影響評価において、大型ダンプカーの通行量は増加するものの、環境基準を超過するレベルにはならないように、工期の平準化等を検討するとしていますが、県においても、大気環境の濃度レベルの把握等沿線地域への環境影響について沿線市町村とともに調査を行う予定です。

これまでも、長野県では、窒素酸化物や浮遊粒子

状物質、微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染物質を、県の地方事務所や交通量の多い交差点、インターチェンジ付近等19か所において24時間365日間継続的に測定しています。一方、これらの測定局の地域以外での、個別の事案や特定の道路周辺等の大気環境の測定に対応するために、大気環境測定車「あおぞら号」を各地に1ヶ月程度設置し、短期的な測定を実施しています。

リニア中央新幹線の建設工事についても大気環境への影響を調査するため、昨年度から、「あおぞら号」による大気環境測定を開始しました。まず、工事開始前の大気環境の状態を把握するため、沿線の大鹿村、中川村、南木曾町の3地点で測定を行いました。今年度は、阿智村、南木曾町、飯田市、中川村、松川町、大鹿村*において測定を予定しています。なお、昨年度測定した3地点とも道路環境に係る大気汚染の項目では環境基準の濃度レベルを下回り、良好な状態でした。

これらの地点では、工事開始後、交通量が多くなる時期に再び測定を行い、環境保全対策の基礎資料として活用されます。

当所としましても、「あおぞら号」等による大気測定体制を的確に管理し、引き続き県内の良好な大気環境の把握に努めます。

* 大鹿村は臨時測定局による通年測定を行う。

(町田 哲 kanken-taiki@pref.nagano.lg.jp)



目次

- ・ 最近の話題「リニア建設工事の大気環境を測定します」 1
- ・ トピックス「JIS K 0102 (工場排水試験方法) が改正されました」 2
- ・ トピックス「ICP-MS による生体試料中の微量金属元素の分析」 3
- ・ 報 告『山と自然のサイエンスカフェ@信州』をMIDORI長野で開催!」 4
- ・ お 知 らせ「環境保全研究所の施設を公開します!」 4

